

洞爺湖畔で冬の健康運動 ノルディックウォーキング

冬の運動不足解消を目的に「健康づくりウォーキング会—洞爺湖畔を歩こう—」（健康づくり推進員会主催）が、1月31日に行われ、推進員を含め13人が参加しました。

昨年に引き続き、ストックを使って歩くノルディックウォーキングで噴火記念公園から洞爺温泉ホテル華美までの往復約3.5kmの道のりを歩きました。参加者は、最初にストックを使った正しい歩き方の講習を受け、冬の洞爺湖を満喫しながら消費カロリーが通常より1～2割高いウォーキングで汗を流しました。



ストックを手に湖畔を歩く参加者たち

1月31日、伊達消防署洞爺湖支署で、小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式が行われました。



森協事務局長(左)からレプリカのキーを受け取る真屋町長

社団法人日本損害保険協会が、地域の防災力を強化し、安全で安心なまちづくりに貢献しようと毎年全国の各自治体などに寄贈しているものです。

受納式では、同協会北海道支部の森協事務局長が真屋町長に目録を贈呈した後「地域の皆さんの生命と財産を災害から守る活動に役立ててほしい」と挨拶しました。

これを受け真屋町長が「寄贈に対し、心からお礼申し上げます。日本損害保険協会の奉仕の気持ちに応えていきたい」と感謝の言葉を述べました。

小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式 日本損害保険協会が洞爺湖町に寄贈

虻田小学校では、2月3日、総合的学習「ほたての水揚げと虻田



せりを体験する児童たち

漁港のせり見学」を行い、地域の特産物のほたてが、食卓に上がるまでの行程を勉強しました。

総合的学習を行ったのは、虻小3年生の児童30人。

虻田漁港に到着した児童らは、いぶり噴火湾漁協虻田地区青年部長の福島正和さんの説明で、貝の水揚げから洗浄、出荷までの一連の流れを学びました。

せりの見学では、せりおとしと入札の両方のやり方を体験した後、実際のせりを見学。

最後に、漁協青年部の皆さんに、焼いたほたてを振る舞ってもらい、おいしい総合的学習となりました。

虻小総合的学習を実施 特産のほたてについて学ぶ

親子楽しく調理 食育料理教室

親子で料理を通して食について学ぶ親子食育料理教室（ヘルスメイトの会主催）が、2月4日洞爺総合センターで行われ、親子4組9人が参加しました。

当日のメニューは、フレンチトーストロール、だいずのミネストローネ、フルーツラッシー、パンみみラスクの4品で、いろいろな野菜の育ち方を学んだ後、調理を開始。

参加した子どもたちは、ヘルスメイトの会員の皆さんの指導を受けながら、手際よく一品一品作り上げました。

最後に、完成した料理を参加者全員で試食し、出来栄を確かめました。



仲良く一緒に調理を行う親子

まちのわだい

